

【テーマ4:研修ファシリテーターの力量形成と指導主事による支援のための オンライン研修モデルの開発】

【団体名】国立大学法人奈良国立大学機構奈良教育大学

- 奈良県教育委員会
 - 奈良県立教育研究所
 - ソフトバンク株式会社
- (その他協力機関:大和郡山市教育委員会、香芝市教育委員会、十津川村教育委員会、山添村教育委員会等)

モデル開発概要

現場における課題

・各学校において研修を企画・運営する教員(研修ファシリテーター)が校内研修を実施する場合、当該校が積み重ねてきた研修内容や方法に頼るところが大きい。また、若くしてファシリテーターになったり、学校の中核を担う教員にあっても、多忙化により職場を離れての研修が受けられないなど、学ぶための支援が十分に行き届いていない。

モデルの概要

・教科の特性を踏まえた研修の企画・運営に有効なオンラインプラットフォーム機能の開発と、研修ファシリテーターのコンピテンシーモデルの作成を通して、研修ファシリテーターの力量の継続的な向上と指導主事等による継続的な支援の充実に資するオンライン研修モデルを開発することを目的として実施した。

活用する技術・ツール等

- ・教員研修における研修ファシリテーターのコンピテンシーモデル
- ・ムービーライブラリー(ソフトバンク株式会社)

高度化に資する取組

○研修ファシリテーターのコンピテンシーモデルの作成

・研修ファシリテーターに求められる資質・能力基準を整理(文献調査、仮説モデルへの現職教員からのフィードバック、外部評価委員会からの評価など)し、コンピテンシーモデルを作成した。

○オンラインプラットフォーム機能の開発

(ツールの選択)

・ソフトバンク社製ムービーライブラリーを選択。(多くの企業において職員研修に活用。ログインアカウントを付与した人だけが視聴可能。)

(機能改善)

・手軽にできる研修への改良、企業向けから教育向けへの改良。(メニュー画面の設置、親しみやすいデザイン、コメント入力機能、コメントへのさらなるコメント入力機能、お知らせ表示など)

(使いやすさの工夫)ムービーライブラリーのマニュアル動画の作成を行い、使いやすさを追求した

モデルを活用する上でのポイントや期待される効果

○研修ファシリテーターのコンピテンシーモデルの活用

・コンピテンシーモデルを示す(ベースに据える)ことにより、研修の形骸化を防ぎ、全員の参画意識が促進される。

○オンラインプラットフォーム機能の活用

・予め録画された授業をオンデマンドで自由に視聴できる環境を整え、動画を見ながら即時にコメント可能な機能を設置することは、ファシリテーターの研修構想に役立つものとなる。

・へき地・小規模校などの、教職員が少人数であるがゆえに研修のバリエーションを取り入れることが困難な環境では、本機能により、受講生の多様な見方・考え方が交流され、充実した研修が期待できる。